

様式第2号（第4条関係）

泊江市立学校使用教科書調査研究資料（案）

教科別調査研究委員会委員長 細谷 俊太郎

種目名[国語] 発行者の番号・略称[2 東書]

調査研究の観点	調査研究の内容
<u>(1) 内容の選択</u>	ア 話し合いによって考えを深めたり、グループで協力して資料作成や発表を行ったりするなどの協働的な学びの具体的な姿を学習活動に取り入れている。 イ 小单元「言葉相談室」を設け、つまづきやすい語彙や文法を取り上げて、確かな国語の力の土台を作るようにしている。 ウ 「本は友達」という読書单元を年間3か所設定し、生涯にわたって読書に親しむ習慣や態度を育めるようにしている。 エ 「読むこと」の学習で身に付けた力を「書くこと」の学習に効果的に結び付け、「言葉の力」の習得と活用を促している。
<u>(2) 構成・分量</u>	ア 「話す・聞く」「書く」「読む」の各单元で、身に付ける資質・能力を「言葉の力」として明示している。 ア 学習の全体像をひと目で見わたせる構造になっている。学習活動の展開を紹介するだけでなく、児童のノート例や対話例などの具体的な学びの姿を示している。 イ 「見通す」「取り組む」「振り返る」という三つのステップを繰り返して学習することで、「言葉の力」を獲得できるようにしている。 ウ 教科書の重量が4.2%軽量化され、児童の負担軽減を図っている。
<u>(3) 表記・表現</u>	ア 入門期では、従来よりも促音・拗音の小書きの文字を小さくして判別しやすくしている。 ア 漢字の読みや送り仮名など、必要に応じてユニバーサルデザイン書体を使用し、どの児童も読みやすいよう配慮している。 ア 单元ごとに、見開きで「言葉の力」と「学習の流れ」を示すことで、どんなことをどのように学ぶのかを知らせ、見通しをもてるようにしている。 イ シンプルなレイアウト・配色であり、大事な情報に着目しやすい。

<p>(4) 使用上の便宜・その他</p>	<p>ア 6年では「「永遠のごみ」プラスチック」という説明文が掲載されている。2021年4月に「狛江市ゼロカーボンシティ宣言」を発出している狛江市と関連のある題材である。</p> <p>ア 他教科との関連的な指導ができる教材や題材を取り上げ、各校のカリキュラム・マネジメントに対応できるようにしている。</p> <p>ア 2年生以上で、よりよい社会の実現を目指す人々の文章を読んだり、自分の未来について考えたりする活動を通じて、持続可能な社会を創るために考え、行動する力を養えるような単元を設けている。</p>
-----------------------	---

種目名[国語] 発行者の番号・略称[17 教出]

調査研究の観点	調査研究の内容
(1) 内容の選択	<p>ア 各単元で扉に「学習のめあて」、「学習内容」、「ふり返り」が示されており、学習の見通しをもちやすく子供たちが主体的に学べるようになっている。</p> <p>イ 「漢字の広場」では、文作りをするだけでなく、同音異語や熟語にも触れられている。</p> <p>ウ 「図書紹介コーナー」「情報読書」「交流読書」の教材を設定して、読書の日常化を促すつくりになっている。</p> <p>エ メールの書き方やその場にふさわしい言葉遣いなどなどこれから必要なスキルも掲載されていて分かりやすい。</p>
(2) 構成・分量	<p>ア 低学年では親しみやすい題材、中学年では調べ学習の広がり合わせた題材、高学年では多様な考え方を取り上げた題材等を設定して、発達段階に考慮した構成となっている。</p> <p>イ 「見通しをもとう」「ふりかえろう」「ここが大事」で学習の見通しや大事なことが分かりやすい。また「言葉を増やそう」で、単元と関わりのある語彙を増やすことができる。</p> <p>ウ 生活科や社会など他教科との横断的な学習内容が取り扱われている。</p>
(3) 表記・表現	<p>ア 紙面やデジタルで見やすいオリジナルフォントの使用や色に基づく活動を避け形でも判別できる紙面の工夫など、ユニバーサルデザインに配慮している。</p> <p>イ 短歌、俳句、詩などの文学教材は原典を尊重し、そのままの表記を原則としている。</p> <p>イ 低学年の物語では挿絵がふんだんに使われており、文章理解の助けとなる。マンガや新聞が取り扱われているページは読み比べができ、分かりやすい。</p> <p>ウ 本文に出てくる新出漢字は書き順まで詳しく載せられている。</p>
(4) 使用上の便宜・その他	<p>ア 「手話」や「世界遺産」などの題材を取り上げ、SDGs・ESDに取り組みやすい内容となっている。</p> <p>イ 巻末付録が充実している。「原稿用紙の書き方」「推敲の記号」視写の仕方」「ノートの取り方」「その場に応じ言い方」など、学習していく上で大事なことが分かりやすくまとめられている。</p>

様式第2号（第4条関係）

泊江市立学校使用教科書調査研究資料（案）

教科別調査研究委員会委員長 細谷 俊太郎

種目名[国語] 発行者の番号・略称[38 光村]

調査研究の観点	調査研究の内容
(1) 内容の選択	ア 「話すこと・聞くこと」では、児童の発達段階に応じた学習意欲を喚起する題材が扱われ、「読むこと」では、社会の形成者としての児童を育成するよう、多様なジャンルの作品が扱われていて、題材も身近なものが多い。 イ 読むことの学習において「言葉に着目しよう」という項目を設定し、文中に出てくる着目すべき表現や語句を取り上げている。 ウ 巻末に長編文学やノンフィクションなど、多様なジャンルの読書教材を各学年に配置し、多くの図書を紹介している。 エ コラムや資料、読むことと書くことの複合単元の配置により、深い学びの実現を図っている。
(2) 構成・分量	ア 情報の扱い方に関する事項に焦点を当てた単元を「書くこと」の単元の直前に配置し、既習事項が生かされる構成になっている。 イ 学習構成が「見通し」「問い」「考える」「まとめる」「ひろげる」となっており、学習課題の設定と考えの形成の過程が明示されている。 ウ 巻頭にて前年度に学習したことと今年度に学習することが上下二段で書かれており、系統性を捉えやすい構成になっている。
(3) 表記・表現	ア 低学年では、太い教科書体を使用し、低学年児童にとって認識しやすい文字となっている。 イ 「読むこと」の挿絵は、鮮やかな色彩で描かれており、情景を想像しやすい。写真の使用にあたっては、臨場感あるものが使用されていて、それからも様子を想像することができるようになっている。 ウ 色覚特性への配慮として、色の組み合わせの工夫や色以外の要素から情報が読み取り区別できるよう線種を変えろといった工夫がなされている。
(4) 使用上の便宜・その他	ア 持続可能な社会の実現のため、国際理解教育、平和教育、環境教育等、多くのSDGsに関連するテーマを幅広く取り上げている。 イ 作者・筆者へのインタビュー動画を収録しており、教材の解釈が深まる資料が充実している。

種目名[書写] 発行者の番号・略称[2 東書]

調査研究の観点	調査研究の内容
(1) 内容の選択	<p>ア 硬筆の中から見出した課題を毛筆の学習を通して解決し、その成果を硬筆に生かせるような学習の流れとなっている。</p> <p>イ 3年生の毛筆のまとめとして「水」を取り上げ、既習の5つの点画の筆使いを学習できるようにしている。</p> <p>ウ 学習した内容が日常生活や生活、他教科とどのように関わっているのかが一目でわかるように目次に示されており、児童も意識することができる。</p> <p>エ いろは歌、百人一首、古典、漢文などの「文字文化」に触れることができる「文字といっしょに」を設けている。</p>
(2) 構成・分量	<p>ア ①硬筆から課題を見つける ②毛筆でたしかめる ③硬筆に生かす という3つのステップを踏んで学習する紙面構成になっており、毛筆の学習にとどまらず、日常の硬筆で学んだことを意識することができる。</p> <p>イ 児童自身が系統性を意識した学習ができるよう、表紙裏のインデックスに示している。</p> <p>ウ 2年生以上の初めのページに、日常から課題を提示し「書写のかぎ」が解決法になる流れを4コマ漫画で示しており、日常生活と書写の学習を関連付けられるようになっている。</p>
(3) 表記・表現	<p>ア 毛筆・硬筆のどちらについても、学習事項のポイントを「書写のかぎ」として分かりやすく示している。</p> <p>イ 学習過程の示し方をシンプルにし、使用色を少なくすることで、学習に集中しやすくしている。</p>
(4) 使用上の便宜・その他	<p>ア 手紙の書き方やはがきの書き方を取り上げており、狛江市の絵手紙の学習と関連付けられる。</p> <p>イ 単元の導入にアニメーションが見られたり、毛筆の運筆を動画で確認できたりするなど、全学年で151のQRコンテンツがあり、個別最適な学びの実現に対応している。</p>

種目名[書写] 発行者の番号・略称[17 教出]

調査研究の観点	調査研究の内容
(1) 内容の選択	<p>ア 3年生以上の毛筆教材は9から11教材を設定し、硬筆教材は各学年の指導事項に合わせた内容となっている。</p> <p>イ 3年生でカタカナ「ビル」を取り上げ、曲がりや折れの筆使いの違いを確認しながら学習できるようにしている。</p> <p>ウ 身に付けた書写の力を国語の「言語活動」や他教科の「どの場面」で生かせるのかがすぐに分かる教材を豊富に掲載しており、各教科と連携しやすい。</p>
(2) 構成・分量	<p>ア 毛筆教材のあとに「レッツ・トライ」、「書いて伝え合おう」のページを配列し、習得した書写の力を日常生活に活用できるように教材を構成している。</p> <p>イ 中学年では、姿勢、筆遣い、筆圧、字形の整え方が学べるように、高学年では「大きさ」「書く速さ」「穂先の動き」を意識して、書く学習ができるように配列している。</p> <p>ウ 授業初めの「ためし書き」と授業終わりの「まとめ書き」を比べることで1時間の授業での自らの成長に気付く構成になっている。</p>
(3) 表記・表現	<p>ア 書字のポイントが赤の太字で示されていたり、穂先の通り道を朱墨で示していたり、筆使いを理解しやすい扱いとなっている。</p> <p>イ 3年生以上の学年で、小筆と鉛筆の持ち方についてその違いを写真を基に詳細に解説している。</p>
(4) 使用上の便宜・その他	<p>ア 各学年で「手紙・はがき」を書く活動を系統的に取り扱っており、狛江市の絵手紙と関連した指導がしやすい。</p> <p>イ 海外での手書き文字の様子を紹介し、伝統的な文字文化や多様性を理解しやすい。</p>

様式第2号（第4条関係）

泊江市立学校使用教科書調査研究資料（案）

教科別調査研究委員会委員長 細谷 俊太郎

種目名[書写] 発行者の番号・略称[38 光村]

調査研究の観点	調査研究の内容
(1) 内容の選択	ア 毛筆教材の後には、同じねらいで硬筆教材が用意されており、学んだことを毛筆から硬筆へ生かす扱いがなされている。 イ 3年生の毛筆のまとめとして漢字二文字の教材「水玉」を学習することで、4年生の文字の組み立ての学習につなげている。 ウ 今日的な教育課題への対応「4年SDGsブック」「町の暗算を伝えよう」等が取り上げられている。 エ 「授業の前の書写体操」「授業の後の整理体操」により、正しい姿勢や筆記具の持ち方の定着を図っている。
(2) 構成・分量	ア 低学年での硬筆教材では、筆順から字形へと発展した構成になっている。毛筆教材では、簡単な筆遣いから順を追って漢字、組み立て配列と発展させた構成になっており、文字の書き順や特徴に沿った運筆に重点が置かれている。 イ 中学年では点画の種類、高学年では点画のつながり、部分の組み立て方では「へん」と「つくり」が発展的に配列されている。また、文字の大きさと配列では、中心を捉えることから大きさ、漢字と仮名、行間等が発展的に配列されている。
(3) 表記・表現	ア 猫のキャラクターを用いて、筆運びや力加減を視覚的に捉えられるようにしている。 イ 3年生からの全ての学年で、大筆、小筆、鉛筆の持ち方の写真が並べられており、用具に応じた持ち方を比べられるようになっている。
(4) 使用上の便宜・その他	ア 3年生では「手紙の書き方」、4年では「はがきの表書き」等あり、「絵手紙」を書く際に活用できる教材が扱われている。また、5年6年での「新聞の書き方」「ポスターを作るとき工夫」等も絵手紙指導の際に関連付けることができる。 イ 右利き用と左利き用のQRコードを掲載し、リンク先の写真の動画で毛筆用具の準備を視覚的に分かりやすく示している。

種目名[社会] 発行者の番号・略称[2 東書]

調査研究の観点	調査研究の内容
(1) <u>内容の選択</u>	<p>ア 「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という問題解決の流れが提示されている。</p> <p>イ 授業展開が想定しやすいように、児童の思考の流れが具現化されている。</p> <p>イ 各時間の資料が適切で、課題解決をしやすくなっている。</p> <p>ウ 各単元に「いかす」「ひろげる」を提示することで、学習内容を基盤とした発展的な授業を展開しやすくなっている。</p>
(2) <u>構成・分量</u>	<p>ア 各時間にめあてが設定されている。</p> <p>ア 全体を集約したような学習問題の例示があるので、授業展開に生かしやすい。</p> <p>イ まとめのページに学習問題が再提示されていて、めあてを達成しやすい。</p> <p>イ 思考力を高める、関連図や表が扱われている。</p> <p>ウ 5・6年は大单元ごとに分冊になり、単元のつながりとして把握しやすく、重量的にも配慮されている。</p>
(3) <u>表記・表現</u>	<p>ア 学習の進め方のページがあることで、進級時の学び方のスタンダード化が図れる。</p> <p>ア どの学年も写真や図、グラフなどの資料が多く充実している。</p> <p>ア 思考・判断を促す写真や資料が掲載されている。</p> <p>イ まなびのポイントがあることで、1単位時間の大切にすべき活動が把握しやすい。</p> <p>ウ 「つかむ」「調べる」「まとめる」の表記が大きくわかりやすい。</p>
(4) <u>使用上の便宜・その他</u>	<p>ア 他県の例示であっても「まなびのポイント」があることで、取り組むべき活動が把握しやすい。</p> <p>ア 4年生は、狛江市の社会科副読本と併せて活用することで、身近な地域の事柄として実感をもって学習に取り組める。</p> <p>イ 各単元に、二次元コードがあり、ワークシートなど授業に活用できるものにアクセスできる。</p> <p>イ UDフォントの使用、色覚特性に配慮したデザインとなっている。</p>

種目名[社会] 発行者の番号・略称[17 教出]

調査研究の観点	調査研究の内容
(1) 内容の選択	<p>ア 「つかむ」「調べる」「まとめる」の構成が明記してある。</p> <p>ア 「問い」を中心に学習を展開する構成になっている。</p> <p>イ ICT を活用した表現活動など、学習内容に応じた方法を紹介してある。</p> <p>イ 「学びのてびき」によって、学び方を学ぶことができる。</p> <p>ウ 児童が個々の関心や意欲に応じて活用できる、読み物を中心としたページがある。</p>
(2) 構成・分量	<p>ア 「みんなでつくった学習問題」と「この時間の問い」を載せてあり、単元全体の学習問題と単位時間の問題を区別できるようになっている。</p> <p>ア 学習計画を立てるページについて、予想が多く書かれている。</p> <p>イ 思考ツールで学習を整理する方法を紹介するなど、対話的な学習を促し、表現活動を活発にする工夫がある。</p> <p>イ 「つなげる」として、社会的な「選択・判断」や「構想」の場면을充実させている。</p>
(3) 表記・表現	<p>ア 図や写真が大きく見やすい。</p> <p>ア 歴史単元における学習資料について、いくつかの写真のカラー化が行われている。</p> <p>ア 社会で活躍している多様な人物が紹介されている。</p> <p>イ 社会科の視点や方法を、キャラクターのふきだしでわかりやすく例示している。</p> <p>イ 重要な語句や、社会科の見方・考え方が太字で表記してある。</p>
(4) 使用上の便宜・その他	<p>ア 二次元コードによる資料・コンテンツが載せてある。</p> <p>イ UD フォントの使用、色覚特性に配慮したデザインとなっている。</p>

種目名[社会] 発行者の番号・略称[116 日文]

調査研究の観点	調査研究の内容
(1) <u>内容の選択</u>	<p>ア インタビューが多く、様々な産業で働く人の声に児童が触れやすい。</p> <p>ア 学習問題に対する児童の考えを例として、多く掲載している。</p> <p>ア 多くの都道府県の事例を扱っている。</p> <p>イ 統計資料、イラスト資料、写真資料と様々な種類の資料が記載されている。</p>
(2) <u>構成・分量</u>	<p>ア 見開きの中に複数の資料が載っているため、様々な観点から情報を読み取ることができる。</p> <p>ア 各ページで文字数が多く、丁寧に説明している。</p> <p>イ 各单元ごとにまとめたノート例があり、児童が参考にしながら学習を進められる。</p>
(3) <u>表記・表現</u>	<p>ア 見開きで比較しやすいようにイラストが掲載されている。</p> <p>ア イラストの色彩が鮮明で、文字が比較的大きい。</p> <p>イ 重要語句として、キーワードの欄を設けている。</p> <p>イ 学習活動がページ下部に帯状に記載されている。</p>
(4) <u>使用上の便宜・その他</u>	<p>イ 二次元コードが豊富にあり、一人一台端末を活用した個別最適な学びに活用しやすい。</p> <p>イ 二次元コードが様々なページ、様々な箇所に散りばめられていて、資料をさらに詳しくしたものを見たり、関連動画を見たりすることができる。また、各種ワークシートをダウンロードすることができる。</p> <p>イ 4年生で狛江市の水辺の楽校を扱ったページがあり、取り組みやすくなっている。</p> <p>イ UDフォントの使用、色覚特性に配慮したデザインとなっている。</p>

種目名[地図] 発行者の番号・略称[2 東書]

調査研究の観点	調査研究の内容
(1) <u>内容の選択</u>	<p>ア 都道府県統計が載っているので、問題解決がしやすくなっている。</p> <p>ア 5・6年の学習内容に関連した資料地図、統計が掲載されている。</p> <p>イ 地図のきまり・地図の使い方を漫画形式で説明して、親しみやすくしている。</p> <p>ウ 地図の情報が細かいので、より具体的な情報を得やすい。</p> <p>エ 二次元コードを読み取ると、地図帳内の問題の解答や、方位・縮尺・等高線の解説を動画等で見ることができる。</p>
(2) <u>構成・分量</u>	<p>ア 地方ごとにページで分かれているので、より広い視点で調べることができる。</p> <p>ア おおまかには、世界地図、日本列島の地図、地図の見方・使い方、日本の地方毎の地図、世界の大陸毎の地図、資料地図・統計表の順で構成されている。全102頁。</p> <p>イ およそどの頁にも作業を伴う課題及び難易度が示されている。</p> <p>イ 各学年の単元に応じた資料が掲載されている</p>
(3) <u>表記・表現</u>	<p>ア ふりがなや図、文字が大きく、非常に見やすい。</p> <p>ア イラストが多く使われており、どの地域でも指導しやすい。</p> <p>ア 表紙に光沢がある。</p> <p>イ 色覚特性に配慮したデザインがされている。</p> <p>ウ 「マップにジャンプ」を活用し発展的な学習に取り組める。</p>
(4) <u>使用上の便宜・その他</u>	<p>ア 東京都の学習で、23区のことを学ぶ際に、拡大地図があるため地域の様子を俯瞰しやすい。</p> <p>イ 「二次元コード」があるため、地図帳にない情報も得ることができる。</p> <p>イ UDフォントが使われている。</p>

種目名[地図] 発行者の番号・略称[46 帝国]

調査研究の観点	調査研究の内容
(1) <u>内容の選択</u>	<p>ア 東京都全体や都心部、江戸時代後期のページがあり、調べ学習がしやすい。</p> <p>イ 日本の産業について、要所にイラストや、グラフが描かれており、特徴をつかみやすい。</p> <p>ウ 外国語のあいさつが載っていて、外国語活動とのカリキュラムマネジメントが図れる。</p> <p>ウ SDGs との関連ページがある。</p> <p>エ 二次元コードによって追加資料が読み取れるようになっていて、調べ学習に使いやすい。</p>
(2) <u>構成・分量</u>	<p>ア 「地図マスターへの道」があり、地図帳に興味をもって学習することができる。</p> <p>イ 「地図のやくそく」があり、学習内容に即して指導に活用できる。</p> <p>イ 歴史と関連付けられた資料があり、第6学年の学習にも対応できるよう考えられている。</p> <p>イ キャラクターの吹き出しが随所にあり、読み取りがしやすくなっている。</p>
(3) <u>表記・表現</u>	<p>ア 写真が多く配置されている。</p> <p>ア ふりがなが付けてあり、漢字が苦手な子でも読みやすい。</p> <p>イ コントラストがはっきりしていて、土地の高さの違いが分かりやすく、大切な情報や言葉も目立つようになっている。</p> <p>イ 色覚特性に配慮したデザインがされている。</p> <p>イ 表紙が厚紙で作られており、4年間使用できるようになっている。</p>
(4) <u>使用上の便宜・その他</u>	<p>ア 関東地方南部が載っている地図に狛江市の表記がある。</p> <p>イ UD フォントが使われている。</p>

種目名[算数] 発行者の番号・略称[2 東書]

調査研究の観点	調査研究の内容
(1) 内容の選択	<p>ア 低学年では身近な題材から、高学年は文字と式を中心とした導入で、発達段階に合わせた提示がされている。</p> <p>ア 1年繰り上がりのあるたし算では、さくらんぼ図ので計算する部分を○で囲む説明がある。</p> <p>ア ひし形の面積公式では、一方の対角線×もう一方の対角線÷2 と表示している。</p> <p>イ オープニングムービーを使用した導入を行うことができる。</p> <p>ウ 「今日の深い学び」で思考力・判断力・表現力等の伸長を図っている。</p>
(2) 構成・分量	<p>ア 単元ごとに「たしかめよう」があり、算数の大切な見方・考え方を身に付けるための「つないでいこう算数の目」がある。</p> <p>ア 練習問題が豊富で、習熟につながるような構成がなされている。</p> <p>イ 1年：スタートブックあり2冊 6年：1冊 2345年：上下巻</p>
(3) 表記・表現	<p>ア まとめや、その授業で大切な見方・考え方が子供のキャラクターの発言として取り上げられている。</p> <p>ア イラストや写真が豊富に使われている。</p> <p>ア 新しく習う用語は、太くゴシックで表現されている。</p> <p>イ 板書に見立てた表記があり、実際の学習をイメージしやすい。</p>
(4) 使用上の便宜・その他	<p>ア 1年①スタートブックはA4サイズの大きさと文字が大きく、書き込みができる。</p> <p>ア Dマークがあり、タブレットから読み取り、学習を充実させられるようになっている。</p> <p>イ 算数マイノートを作ろうでは、ノートの書き方・工夫など学年に応じたノートの書き方が示してある。</p>

種目名[算数] 発行者の番号・略称[4 大日本]

調査研究の観点	調査研究の内容
(1) 内容の選択	<p>ア 各単元の導入において、漫画や大きな絵で具体的な場面を例示して、課題を示している。</p> <p>ア 1年繰り上がりのあるたし算では、さくらんぼ図ので計算する部分を○で囲む説明がある。</p> <p>ア 1年繰り下がりのあるひき算では、減減法の考え方も詳しく説明している。</p> <p>ウ 「おうちで算数」がある。</p>
(2) 構成・分量	<p>ア 毎時の適用問題、「たしかめ問題」、「プラスワン」は習熟を図る上で十分な量である。</p> <p>ア 単元末の「たしかめ問題」では、単元で使いたい見方・考え方を問う問題「見方・考え方をたしかめよう」が設けられている。</p> <p>イ 1年：スタートブックあり2冊 23456年：1冊</p>
(3) 表記・表現	<p>ア 新しく習う用語は、太文字で表現されている。</p> <p>ア 毎時の「めあて」がはっきりと書かれている。</p> <p>ア イラストや写真が豊富に使われている。</p> <p>イ 要所要所で補足がついており、学習内容の理解の手助けとなっている。</p>
(4) 使用上の便宜・その他	<p>ア 1年①スタートブックはA4サイズの大きさと文字が大きく、書き込みができる。</p> <p>イ 「プログラミングにちょうせん」のページでは、アンプラグドプログラミングの教材と「スクラッチ」を用いたビジュアルプログラミングの教材の2つを掲載している。</p> <p>イ ウェブコンテンツや2次元コードがある。練習問題の答えがQRコードで示されている。</p> <p>イ 登場するキャラクターに外国の児童がいる。</p>

種目名[算数] 発行者の番号・略称[11 学図]

調査研究の観点	調査研究の内容
(1) 内容の選択	<p>ア 新しい学習に入る場面では「?を発見」のページが設定されている。</p> <p>ア 次時の学習へつながる疑問を「つながりの?」として吹き出しで示している。</p> <p>ア 算数の学びに必要な見方・考え方を「考え方モンスター」としてキャラクター化し、随所で示している。</p> <p>ア 演算決定の意味理解にページを多く使用している。(小数のわり算など)</p> <p>ア 台形の面積公式として独自の指揮を掲載している。(中央線×高さ)</p>
(2) 構成・分量	<p>ア 「計算のしかたを考えよう」単元が独立した単元として扱われている。</p> <p>ア 「倍」の概念を学習する内容を通常の単元とは別に特別単元として位置付け、重点的に学習できるようになっている。</p> <p>イ 1 2 3 4 5年：上下巻 6年：1冊</p>
(3) 表記・表現	<p>ア 新しく習う用語は、太くゴシックで表現されている。</p> <p>ア めあてが、子供の言葉で、吹き出しで示されている。</p> <p>ア まとめが大きく太い文字で強調されている。</p> <p>ア イラストや写真が豊富に使われている。</p> <p>ウ 色合いが明るく目立つ印象を受ける。</p>
(4) 使用上の便宜・その他	<p>ア 安全指導や国際理解、環境問題等、学年に応じて例題がある。</p> <p>イ A4サイズで横幅が長い。</p> <p>イ デジタルコンテンツの該当ページにQRコードがついている。</p> <p>イ 「プログラミングのプ」のページがあり、QRコードで実際に試することができる。</p>

種目名[算数] 発行者の番号・略称[17 教出]

調査研究の観点	調査研究の内容
(1) 内容の選択	<p>ア 単元導入時に「どんな学習がはじまるのかな？」で身近な題材から算数の問題を提示している。</p> <p>ア 演算決定の意味理解にページを多く使用している。（小数のわり算など）</p> <p>ア 葉の面積を概形として考えて計算する活動がある。</p> <p>ア ひし形の面積公式では、一方の対角線×もう一方の対角線÷2 と表示している。</p>
(2) 構成・分量	<p>ア 毎時の適用問題、「ふりかえろう、たしかめよう」、「ステップアップ算数」は習熟を図る上で十分な量である。</p> <p>イ 156年：1冊 234年：上下巻</p> <p>イ 教科横断的に取り組める教材が掲載されており、他教科と関連した場面が豊富に扱われている。</p>
(3) 表記・表現	<p>ア 新しく習う用語は、ゴシック・色別に表現されている。大きな問題は太枠に囲まれている。</p> <p>ア 「はてな?」「なるほど!」では、子供の吹き出しで問いやまとめが示されている。</p> <p>ウ 紙面がシンプルで、色合いが暗色系で落ち着いた。</p> <p>ウ 巻末に学びの手引きとして、用語・記号・用具の使い方などがまとめられている。</p> <p>ウ その巻で取り扱った用語の索引が巻末にあり、調べることができる。</p>
(4) 使用上の便宜・その他	<p>ア 枠が設けられ、書き込みやすくなっている。</p> <p>イ まなびリンクにつながるQRコードがついている。QRコードでは、考え方の説明がある。</p>

様式第2号（第4条関係）

狛江市立学校使用教科書調査研究資料（案）

教科別調査研究委員会委員長 秦 弘行

種目名[算数] 発行者の番号・略称[61 啓林館]

調査研究の観点	調査研究の内容
<u>(1) 内容の選択</u>	ア 既習事項や日常の問題を取り上げて、単元の導入の課題を示している。 ア 1年 10のブロック図は5個×2列の配置 ア 1年繰り下がりのあるひき算では、減減法を考え方の一つとして簡単に扱っている。 ウ 各単元の終わりの学びのまとめに「学びをいかそう やってみよう」があり、発展的に考えられる。
<u>(2) 構成・分量</u>	ア 毎時の「めあて」とそれに対する「まとめ」が示されている。 ア 巻末に補充問題や挑戦問題があり、習熟度に応じて課題の量を調整できる。 イ 1年：スタートブックあり2冊 234年：上下巻 56年：1冊
<u>(3) 表記・表現</u>	ア イラストや写真が豊富に使われている。 ア 練習問題は字の大きさが小さめである。 ア 新出用語や記号などは色や太さで目立たせている。 ア 3年生以上で関係図が記されており、分かりやすい。 ウ 価値づけたい数学的な見方・考え方にマーカーが引いてあり、分かりやすい。
<u>(4) 使用上の便宜・その他</u>	ア 1年①スタートブックはA4サイズの大きさと文字が大きく、書き込みができる。 イ QRコードに、内容が分かるよう題名がついている。 イ 「わくわくプログラミング」では、スクラッチとオリジナルのコンテンツが用意されている。

種目名[算数] 発行者の番号・略称[116 日文]

調査研究の観点	調査研究の内容
(1) <u>内容の選択</u>	<p>ア 上巻巻末に「学び方ガイド」が用意され、「学び方の4ステップ」と「算数で使いたい見方・考え方」が示されている。</p> <p>ア 新たな単元に入る前に「つぎの学習のために」で、既習事項の確認をしている。</p> <p>ア 演算決定の意味理解にページを多く使用している。（小数のわり算など）</p> <p>ア 1年繰り下がりのあるひき算では、減減法を考え方の一つとして簡単に扱っている。</p>
(2) <u>構成・分量</u>	<p>ア 毎時の「めあて」とそれに対する「まとめ」が示されている。</p> <p>ア 巻末の「算数マイトライ」が、「しっかりチェック」「ぐっとチャレンジ」「もっとジャンプ」と学習状況に応じて取り組めるようになっている。内容が充実している。</p> <p>イ 1256年：1冊 34年：上下巻</p>
(3) <u>表記・表現</u>	<p>ア 紙面がシンプルで、色合いが落ち着いた。</p> <p>ア 大事な言葉はゴシックで目立たせている。めあてとまとめに同じ色がついていて分かりやすい。</p> <p>ウ 索引に英語も併記され、外国語との関連が図れるようになっている。</p>
(4) <u>使用上の便宜・その他</u>	<p>イ 「レッツプログラミング」では、日常生活と関連する題材が取り上げられている。</p> <p>イ デジタルコンテンツの該当ページにQRコードがついている。</p> <p>イ しおりのひもがついていて、どこを学習しているか分かりやすい。</p>

様式第2号（第4条関係）

狛江市立学校使用教科書調査研究資料（案）

教科別調査研究委員会委員長 岸田 和之

種目名[理科] 発行者の番号・略称[2 東書]

調査研究の観点	調査研究の内容
<u>(1) 内容の選択</u>	ア 問題をつかむ場面が大きな画像やイラストで例示されている。 イ 実験で安全に気を付けるべき事柄を、「きけん」のイラスト文字と赤字で示している。 ウ 単元末の「活用しよう」「くらしとリンク」では、生活場面や学術的な内容について示している。
<u>(2) 構成・分量</u>	ア 考察をする際に、結果をもとに考えられるように支援するイラストや文言がある。 ア 実験結果を客観的な数値で示している。 イ 「思い出そう」では、前に解決したことや経験したことについての内容を示し、問題解決につなげるよう工夫されている。
<u>(3) 表記・表現</u>	ア 問題解決の流れが視覚的に分かりやすく示されている。 イ 注意する項目を太字で記載している。 ウ 子供のイラストが人権に配慮されたものになっている。
<u>(4) 使用上の便宜・その他</u>	ア 巻頭に、年間を通して学ぶ事柄を系統ごとに並べて表記している。 ア 5年生「流れる水のはたらき」では、2016年の大雨に際し、狛江市付近（小田急線鉄橋）の多摩川の様子を記載している。

様式第2号（第4条関係）

狛江市立学校使用教科書調査研究資料（案）

教科別調査研究委員会委員長 岸田 和之

種目名[理科] 発行者の番号・略称[4 大日本]

調査研究の観点	調査研究の内容
<u>(1) 内容の選択</u>	ア 実験・観察の予想から計画を立て、観察や実験から結論を導く活動の流れを丁寧に扱っている。 ア 児童の疑問を引き出すような効果的な写真を使って、導入するように工夫している。 イ 児童のイラストやキャラクターの吹き出しで、実験のポイントや気を付けることを示している。 ウ 単元の最後に発展的な内容として、読み物が入っている。
<u>(2) 構成・分量</u>	ア 問題・予想・実験・考察・結論までの流れを、全学年一貫して取り上げている。 ア 理科の問題解決の過程を分かりやすく示し「理科の学び方」を明確にする構成になっている。 イ 既習事項や経験したことについての内容を示し、問題解決につなげるよう工夫されている。
<u>(3) 表記・表現</u>	ア 大きく鮮明な写真、シンプルな図を多用し、変化を明確にしたり児童の関心、意欲を高めるよう工夫したりしている。 イ 「注意」として赤で囲い、安全に実験を行うための注意を表記している。
<u>(4) 使用上の便宜・その他</u>	ア 多摩川の取り組みとして、「狛江水辺の楽校」の活動の様子を取り上げている。 イ 実験・観察ごとにQRコードがついており、使いやすい。

種目名[理科] 発行者の番号・略称[11 学図]

調査研究の観点	調査研究の内容
(1) 内容の選択	<p>ア 単元の初めに、「できるようになりたい」としてその単元で身に付ける力が示してある。</p> <p>イ 実験を行う際の注意を赤字で大きく分かりやすく示している。</p> <p>ウ 実験の最後に、主体的に取り組むために、さらに調べてみると面白い内容を載せている。</p>
(2) 構成・分量	<p>ア 教科書の最後に、各学年でどのようなことを学んだのかを冒険形式で振り返られるようにしている。</p> <p>ア 実験ごとに理解させたい内容を、字体を大きくして載せている。</p> <p>イ 各実験で考察をするときに、結果とどのように比べて書くと良いのかのヒントの文が載せてある。</p>
(3) 表記・表現	<p>ア 実験結果を予想するときに、教科書に直接書き込むことができるようにしている。</p> <p>ア 問題作り、予想、考察の場面で、どこまでできたのかをハートの数で表す工夫をしている。</p> <p>イ 実験ごとに注意することを、赤字で字体を変えて示している。</p>
(4) 使用上の便宜・その他	<p>ア 各学年の単元ごとに、SDGsのどの目標につながるのかを示してあり、裏表紙に載せている。</p> <p>イ コンパクトなサイズである。</p> <p>イ プログラミングの学習内容で、市内各校にあるマイクロビットを取り扱っている。</p>

種目名[理科] 発行者の番号・略称[17 教出]

調査研究の観点	調査研究の内容
(1) <u>内容の選択</u>	<p>ア 問題をつかむ場面と結果、考察の場面でページを分けている。また、結果を次のページで確かめられるようにしている。</p> <p>イ 実験の手順を写真や図で示している。</p> <p>ウ 単元の最後に資料として、発展的な内容の読み物が入っている。</p> <p>エ 実験の方法として、別の方法を数例提示している。</p>
(2) <u>構成・分量</u>	<p>ア 見方、考え方のポイントになる点をマーカーで引いたように記載している。</p> <p>イ 単元の初めと最後でどのように考えが変わると良いのかを例示している。</p> <p>イ 単元の初めに前学年で学んだことや次の学年や中学校で学ぶ内容を示し、つながりが分かりやすくなるようにしている。</p>
(3) <u>表記・表現</u>	<p>ア 実験・観察・結果・考察・結論のそれぞれで分かりやすい表や写真、図等が記載されている。</p> <p>イ 裏表紙に各学年の観察や実験を行うときの「安全の手引き」の記載があり、注意を促せるようにしている。</p>
(4) <u>使用上の便宜・その他</u>	<p>ア 巻頭で6ページにわたって、前学年で学んだこと、大切にしたい言葉、学習の流れ、ノートの取り方を示している。</p> <p>ア 巻末に当該学年で学んだこと、算数のつながりを詳しく示している。</p>

様式第2号（第4条関係）

狛江市立学校使用教科書調査研究資料（案）

教科別調査研究委員会委員長 岸田 和之

種目名[理科] 発行者の番号・略称[26 信教]

調査研究の観点	調査研究の内容
<u>(1) 内容の選択</u>	見本本の送付がないため、調査研究結果なし。
<u>(2) 構成・分量</u>	
<u>(3) 表記・表現</u>	
<u>(4) 使用上の便宜・その他</u>	

種目名[理科] 発行者の番号・略称[61 啓林館]

調査研究の観点	調査研究の内容
<p><u>(1) 内容の選択</u></p>	<p>ア 観察・実験の予想から計画を立て、結果から結論を導くといった活動を丁寧に取り上げている。</p> <p>ア 「活用しよう」「くらしとリンク」では、身近な事象とのつながりと結び付けて考えられるようにしている。</p> <p>イ 巻末の「オッター資料室」では、ノートや観察記録の書き方、実験・観察の仕方などをまとめて掲載している。</p> <p>イ QRコードを読み取ると実験でつまずくところにヒントとなる動画があったりするなど、配慮されている。</p>
<p><u>(2) 構成・分量</u></p>	<p>ア 「思い出そう・問題をつかもう」→「問題」→「計画」→「予想」→「実験・観察」→「考察」→「まとめ」というサイクルで単元を繰り返していて、無理なく問題解決の力が身に付けられるようになっている。</p> <p>ア 「振り返り まとめノート」では、児童がまとめ方のイメージが湧くように工夫されている。</p> <p>イ 理科と日常生活が関連している話題やSDGs との関連が紹介されている。</p>
<p><u>(3) 表記・表現</u></p>	<p>イ 観察や実験で注意すべき点について「注意」として赤字を使って目立つように表記している。</p> <p>ウ 子供のイラストが、人権に配慮したものになっている。</p>
<p><u>(4) 使用上の便宜・その他</u></p>	<p>ア 「流れる水のはたらき」では、多摩川の写真が掲載されている。</p> <p>イ 単元ごとにQRコードがあり、タブレットで読み込んで、実験器具の使い方等の映像や資料、まとめの問題などにアクセスできる。</p> <p>イ 教科書がコンパクトである。</p>

様式第2号（第4条関係）

狛江市立学校使用教科書調査研究資料（案）

教科別調査研究委員会委員長 川崎 貴志

種目名[生活] 発行者の番号・略称[2 東書]

調査研究の観点	調査研究の内容
<u>(1) 内容の選択</u>	ア 四季の変化が、自然だけでなく、町や人々の様子からもわかるようになっている。 イ 「つながる ひろがる」では、他教科とのつながりが示されている。 エ 活動の注意を示した「やくそく」が随所に掲載されており、安全に学習に取り組めるようになっている。
<u>(2) 構成・分量</u>	ア 「つながる国語」「つながる算数」では、合科的・関連的な指導がしやすいようになっている。
<u>(3) 表記・表現</u>	ア 具体的な掲示物や板書例、児童のつぶやき等が示されていて、活動をイメージしやすい。 イ 児童の表情が見える写真が多く、学習意欲を喚起しやすい。 ウ 学習課題の下に、評価基準を示すマークがあり、指導のイメージをもちやすい。
<u>(4) 使用上の便宜・その他</u>	イ 「ほんとうのおおきさいきものずかん」は実物大のイラストが示されており、生き物が探しやすくなっている。 イ 下巻巻末の「かつどうべんりてちょう」では、技能や活動の具体例が示されている。 イ QRコード78か所

様式第2号（第4条関係）

狛江市立学校使用教科書調査研究資料（案）

教科別調査研究委員会委員長 川崎 貴志

種目名[生活] 発行者の番号・略称[4 大日本]

調査研究の観点	調査研究の内容
<u>(1) 内容の選択</u>	ア 季節の流れに沿った単元の構成になっている。 エ プレゼンテーション能力を育成するための工夫がされている。（「はなしかためいじん」「はなしあいめいじん」など）
<u>(2) 構成・分量</u>	ア 単元の導入は、見開きで大きな写真や絵で構成されており、児童の活動意欲を促しやすくなっている。 ア 写真やイラストが余白も取られた上で掲載され、すっきりとした見やすい構成になっている。
<u>(3) 表記・表現</u>	ア 「せいかつことば」では、児童の語彙力向上や豊かな表現力、表現活動につなげるようにしている。 イ キャラクターが、児童の思考を促すよう投げている。
<u>(4) 使用上の便宜・その他</u>	イ 巻末の「がくしゅうどうぐばこ」では、必要な知識や技能の習得が図れるようになっている。 イ QRコード80か所

様式第2号（第4条関係）

狛江市立学校使用教科書調査研究資料（案）

教科別調査研究委員会委員長 川崎 貴志

種目名[生活] 発行者の番号・略称[11 学図]

調査研究の観点	調査研究の内容
<u>(1) 内容の選択</u>	ア 入学してからの児童の生活や学習の流れに即した内容で活動がよくわかるようになっている。 ウ 次の発展的な活動へつながるヒントとなる吹き出しが、随所に示されている。
<u>(2) 構成・分量</u>	ア 一つの活動単位を見開きにしており、学習活動が理解しやすい構成になっている。 イ 「ものしりノート」では、写真やイラストを使って活動や制作が例示されており、活動に取り組みやすい。
<u>(3) 表記・表現</u>	イ 単元の導入部分では活動内容の中心について子供の言葉で表現されており、児童が共感しやすくなっている。 イ 写真やイラストの中に、児童の思いや気づきを多く表記している。
<u>(4) 使用上の便宜・その他</u>	イ 巻末に「まなびかたずかん」が付いており、活動する際のコツやポイントが示されている。 イ QRコード57か所

種目名[生活] 発行者の番号・略称[17 教出]

調査研究の観点	調査研究の内容
(1) <u>内容の選択</u>	<p>ア 身近な生活場面の写真があり、児童が活動を自分の生活と関連付けて考えられるようにしている。</p> <p>ウ 単元の最後にふりかえりにつながる言葉があり、児童が自分の活動を振り返り発展的な学習につなげられるよう工夫がある。</p> <p>エ 単元ごとの「わくわくスイッチ」では、フローチャートにより、自分の学習課題が設定できるようになっている。</p>
(2) <u>構成・分量</u>	<p>ア 1つのページに、文字や写真などの多くの情報が掲載されている。</p> <p>イ 考えのまとめメロで、単元を通した考えをまとめられるようになっている。</p>
(3) <u>表記・表現</u>	<p>イ ページの端に「きづく」「かんがえる」「つたえる」などの表示により、活動のねらいがわかりやすくなっている。</p> <p>イ 植物の成長の様子が順に示され、写真を見れば分かるようになっている。</p> <p>イ 吹き出しを使って、児童の考えを多く示している。</p>
(4) <u>使用上の便宜・その他</u>	<p>イ 巻末の「学びのポケット」では、道具の使い方や調べ方などが掲載されている。</p> <p>イ QRコード56か所</p>

様式第2号（第4条関係）

狛江市立学校使用教科書調査研究資料（案）

教科別調査研究委員会委員長 川崎 貴志

種目名[生活] 発行者の番号・略称[26 信教]

調査研究の観点	調査研究の内容
<u>(1) 内容の選択</u>	見本本の送付がないため、調査研究結果なし。
<u>(2) 構成・分量</u>	
<u>(3) 表記・表現</u>	
<u>(4) 使用上の便宜・その他</u>	

様式第2号（第4条関係）

狛江市立学校使用教科書調査研究資料（案）

教科別調査研究委員会委員長 川崎 貴志

種目名[生活] 発行者の番号・略称[38 光村]

調査研究の観点	調査研究の内容
<u>(1) 内容の選択</u>	ア 身近な生活場面から学習活動を展開している。
<u>(2) 構成・分量</u>	ア 活動ごとの「ふりかえろう」では、自分の学びを振り返ることができるようになっている。 イ 絵や写真が多く、活動の様子をイメージしやすい。 イ 全ての小単元に学び方のヒントが設定されているため、考え方や表現のバリエーションを広げられる。
<u>(3) 表記・表現</u>	ア 楽しく興味をもって学習に取り組めるよう、人気作家のイラストが多く掲載されている。 ア 写真やイラストによって学習過程が分かりやすい。 ウ ページの下の「保護者の皆様へ」は、家庭との連携に効果的である。
<u>(4) 使用上の便宜・その他</u>	ア 上巻付録「はるのなかまたち」等、取り外せるカードが付いていて、携帯して郊外の活動ができる。 イ 単元に即した多様な資料が「別冊資料編」に掲載されている。 イ QRコード37か所

様式第2号（第4条関係）

狛江市立学校使用教科書調査研究資料（案）

教科別調査研究委員会委員長 川崎 貴志

種目名[生活] 発行者の番号・略称[61 啓林館]

調査研究の観点	調査研究の内容
<u>(1) 内容の選択</u>	ア 全国四季折々の植物や行事が取り上げられ、児童は興味をもちやすい。 イ 「ひろがる きもち」では、学びを発展させていきたい内容が記載されている。
<u>(2) 構成・分量</u>	ア 植物の栽培では、数種類の植物が種から成長する様子が、ぱらぱらとページをめくることで捉えられるようになっている。 ア 見開きのページの右端に、次へとつながる学習活動が提示されていて思いに基づいて展開できるようになっている。 イ 観察カードや地図などの活動例が多く、児童が参考にしやすい。
<u>(3) 表記・表現</u>	イ 単元の導入「わくわくタイム」では、大きな見開きにより、児童が課題をもちやすい。
<u>(4) 使用上の便宜・その他</u>	イ 巻末のカラー資料「がくしゅうずかん」では、活動のヒントが掲載されている。 イ 教科書サイズが少し小さめに作られており、児童が扱いやすい。 イ QRコード62か所

種目名[音楽] 発行者の番号・略称[17 教出]

調査研究の観点	調査研究の内容
(1) 内容の選択	<p>ア 音楽づくりの題材が充実している。</p> <p>イ どの学年も巻末に英語歌曲を載せている。共通教材以外にも歌い継ぎたい日本歌曲の掲載がある。</p> <p>イ 日本歌曲の掲載が高学年を中心に豊富で、題材からつないで学習できる。</p> <p>ウ 子どもの気付きや思いを引き出すような問いの例が表記されている。</p>
(2) 構成・分量	<p>ア 歌唱と器楽単体の扱いは歌唱の方が多い。</p> <p>イ 音楽づくりの内容が充実している。</p> <p>ウ 題材が少ない領域で構成されている。</p> <p>ウ 80ページ以内である。</p>
(3) 表記・表現	<p>ア 白紙に楽譜が載っているのを見やすく、イラストより写真が多い。</p> <p>ア 作業の様子など写真が鮮明で想像が付きやすい。</p> <p>ア 折り込み紙面が見やすい。</p> <p>イ 共通教材では特に、歌詞の情景に合った写真上に大きめに歌詞が載っている。</p> <p>ウ ページごとに、ねらいに関わる音楽を形づくっている要素が載っている。</p>
(4) 使用上の便宜・その他	<p>ア SDGsを意識して設定されたページがある。</p> <p>イ A4変型判で写真やイラストが多い。</p> <p>イ フォントや配色がUDである。</p> <p>イ 学習に役立つQRコードがある。</p>

種目名[音楽] 発行者の番号・略称[27 教芸]

調査研究の観点	調査研究の内容
(1) 内容の選択	<p>ア 各領域のバランスがとれている。</p> <p>ア 様々なジャンルの中から選ばれている充実した歌唱教材があり、オリジナル曲も各学年の実態に合っている。</p> <p>イ 全学年に歌い継ぎたい日本歌曲、3年以降に外国語活動と関連した英語歌曲の扱いがある。</p> <p>ウ 学びを広げる、深める問いや、学習手順が載っている。</p> <p>ウ 思考・判断を促すような問いがよい。</p>
(2) 構成・分量	<p>ア 題材が複数領域を関連付けて構成している。</p> <p>イ 学びを生かしてそれぞれが思いや意図をもてるようなイラストや表記がある。</p> <p>イ リズムや旋律をつくる手順が丁寧で分かりやすい。</p> <p>ウ 学習の見通しがもてる紙面構成である。</p> <p>ウ 【特集】が各学年の実態にあっている。</p> <p>ウ 80ページ以上の分量である。</p>
(3) 表記・表現	<p>ア 楽譜よりもイラストや文字による情報が多い。</p> <p>ア 吹き出しが多く、親しみやすいつくりになっている。</p> <p>イ 歌詞の情景を想起できる写真、楽器の写真が大きく掲載されている。</p> <p>ウ 何を学ぶかがアイコンで掲載され、評価の視点ともつながっている。</p>
(4) 使用上の便宜・その他	<p>ア SDGs との関りに関するページや、道徳や人権教育に配慮している項目がある。</p> <p>ア タブレットを活用できるコンテンツを掲載している。</p> <p>ア QR コードを付けているページがあり、個々やグループの実態に応じた活用が期待できる。</p> <p>イ 色覚特性の違いが学習内容に影響を与えないよう表記に配慮がされている。</p>

種目名[図画工作] 発行者の番号・略称[9 開隆堂]

調査研究の観点	調査研究の内容
<p><u>(1) 内容の選択</u></p>	<p>ア 立体、工作、絵、造形遊び、鑑賞のそれぞれがバランスよく精選されており指導しやすく配列されている。</p> <p>イ 隣のページで内容がリンクしているため関連させて指導が実施できるように工夫させている。</p>
<p><u>(2) 構成・分量</u></p>	<p>ア 学習の進め方⇒各領域の内容・題材⇒つながる造形⇒学びの資料と構成されていて、特に学びの資料コーナーは参考資料として工夫されている。学習を通して育つ3つの力を愛らしいキャラクターを使って、毎単元示すように工夫している。学習内容はバランスよく題材が構成されているが、時には内容の連続性をもって学習するよう工夫もみられる。SDGSを意識させている点は特徴的である。</p> <p>イ 分量的にも問題点はなく適量であり、写真やカラーのイラストなど視覚的にも工夫が見られる。作品や材料などの解説も豊富で、児童の様子やコメントがわかりやすく、参考資料として使いやすい。</p>
<p><u>(3) 表記・表現</u></p>	<p>ア 作品や活動の写真がトリミングされており、児童がわくわくするようなレイアウトになっている。また資質・能力を身に着けさせるためのめあてが各題材に設定されている。</p> <p>イ 図工の3つの力をキャラクター化し、どの活動でどんな力を働かせ、育てるのか視覚的に分かりやすい。作品に図版番号が付いており、指示がしやすくなっている。</p>
<p><u>(4) 使用上の便宜・その他</u></p>	<p>ア 伝統技術を学ぶ資料があり、自分たちの暮らす地域に目を向けて学ぶ工夫がされている。地域をテーマにしたり、地域の材料を使うことに関する資料がある。</p> <p>イ QRコードで道具の使い方などが観ることができる。動画では、キャラクターが登場し親しみやすい。全般的に文字が大きく、字体にも工夫が施され、児童が活動をイメージしやすい。</p>

種目名[図画工作] 発行者の番号・略称[116 日文]

調査研究の観点	調査研究の内容
(1) 内容の選択	<p>ア 一つ一つの題材ごとにどんなことを感じ、発見して欲しいのかについて丁寧に書かれている。</p> <p>イ 末尾にアートカードの活用の仕方についての内容がわかりやすく掲載されている。</p>
(2) 構成・分量	<p>ア 教科書の使い方⇒各領域の内容・題材⇒教材と用具の引き出しと構成されていて、合間に楽しいコーナーなどが盛り込まれている。はじめの教科書の使い方には、図工体操や保護者の方へのよびかけ、学習の進め方などが書かれていて特徴的である。学習内容は、同じ活動が続かないようにバランスよく題材が構成されている。毎回盛り込まれている鑑賞には、注目すべきヒントが書かれている。</p> <p>イ 分量的にも問題点はなく適量であり、写真とイラストでわかりやすく説明されている。作品や材料などの解説もシンプルで、児童の様子やコメントが参考になるように掲載されている。</p>
(3) 表記・表現	<p>ア 学習の流れが見えるように活動の場面ごとの写真が掲載されている。ポイントとなる道具の使い方がクローズアップされていて、細部まで注目できるため、活動のイメージが広がりやすい。</p> <p>イ 端的な言葉で説明されているのでわかりやすい。また大切なポイントについて印がついている。用具アイコンや作例から題材で準備するものが分かりやすい。</p>
(4) 使用上の便宜・その他	<p>ア 造形遊びでは、地域を活かした活動が考えられるよう工夫されている。身の回りから似ているものを探したり、図工的視点から鑑賞したりする内容がある。</p> <p>イ QRコードが細分化されている。道具の使い方などの動画では、端的にまとめられている。他教科との関連が示されている。</p>

種目名[家庭] 発行者の番号・略称[2 東書]

調査研究の観点	調査研究の内容
(1) <u>内容の選択</u>	<p>ア 5年生から持続可能な社会やSDGsを意識し、お金の使い方や買い物について学ぶ単元が設定されている。</p> <p>ア 実習の手順や完成図が写真を使い、細かく示されている。食材は、実寸大で紹介されている。</p> <p>イ 1ページの情報量は多いが、資料や活動が一目見て分かるように紙面が工夫されている。QRコードでも確認できる。</p> <p>ウ 単元の終わりに「深めよう」の記載があり、学習を生かして取り組むことができる活動や作品の紹介例が多い。</p> <p>ウ 学習に関連付けて、他学年や他教科で学んだことを紹介している。</p>
(2) <u>構成・分量</u>	<p>ア 5年—8単元 6年—7単元</p> <p>ア ステップ1「課題発見」 ステップ2「課題解決・実践活動」 ステップ3「評価・改善」のサイクルで単元が構成されている。</p> <p>イ 日本の文化や世界の様子、プロに聞くなど、高学年の発達段階に即している。</p> <p>イ 巻末に「調理実習技能」と「製作実習技能」を大きい写真で紹介し、児童が実態に応じて確認できる。</p> <p>イ 5・6年の配列がほとんど同じで、1年を通して同じ流れで学習できる。</p>
(3) <u>表記・表現</u>	<p>ア 活動例、事例、工夫例が、数多く紹介されていて、作業や活動の流れが分かりやすい。</p> <p>ア 裁縫の児童が間違いやすい例を具体的に扱っており、児童が理解しやすい。</p> <p>ア QRコードを読み取ると、ワークシートが出てくる。</p> <p>イ 表現が難しい内容は、イラストや児童の吹き出し等で表記して、補足の説明を加えている。</p> <p>イ QRコードを読み取ることで、教科書の内容が動画で確認できる。</p>
(4) <u>使用上の便宜・その他</u>	<p>ア 家庭や地域を扱う単元が設定されている。</p> <p>ア 日本の伝統に触れるコーナーがあり、市の施設等が活用できる。</p> <p>ア 地元の特産を生かした活動が示されており、自分たちの住む市にも興味をもちやすい。</p> <p>イ 学習の振り返りや、次へのチャレンジなど、自分の成長の記録ができ、学習に見通しがもてる。</p> <p>イ 紙面の色合いやデザインが柔らかい印象を与える。</p>

種目名[家庭] 発行者の番号・略称[9 開隆堂]

調査研究の観点	調査研究の内容
(1) 内容の選択	<p>ア 完成図や手順などの写真が多く、視覚的にわかりやすい。自分の道具等と比較しやすい。</p> <p>ア 児童の生活に役立つ内容や身近な実習例が扱われている。</p> <p>イ ガスコンロの使用方法やジャガイモの芽の危険性など、安全に配慮した内容が多い。</p> <p>ウ すべてのページに、豆知識として発展的な内容が紹介されている。</p> <p>ウ 工夫や発展的な内容の紙面は多くはないが、QRコードを読みこむことで確認できる。</p>
(2) 構成・分量	<p>ア 5年—11単元 6年—9単元</p> <p>ア ①気づく・見つける ②わかる・できる ③生かす・深める の流れで単元が構成されている。</p> <p>イ 児童の生活に密着した内容が多く、自分の生活に活かすことができる。</p> <p>イ 1単元の内容がそれほど多くなく、児童の負担が少ない。</p> <p>イ 安全や防災等に配慮したコーナーやキャリアインタビューがあり、児童が生活に生かせる。</p>
(3) 表記・表現	<p>ア 見開き2ページで構成され、学習の流れや手順が分かりやすいページが多い。</p> <p>ア 1ページの情報は適量で、絵や図での説明が多く、ポイントが分かりやすいよう、文字の大きさやフォントが工夫されている。</p> <p>イ 沸騰の様子やボタンの付け方など、重要な内容は写真だけでなく、QRコードを読み込むことで動画で確認もできる。</p> <p>イ 調理の工程やミシンの使い方を1工程ずつ写真と説明で紹介していて、分かりやすい。</p> <p>イ 教科書に書き込めるスペースがあり、児童の思考の積み重ねが分かるように工夫されている。</p>
(4) 使用上の便宜・その他	<p>ア 伝統建築として、かやぶき屋根を1ページ特集しており、市の施設が活用できる。</p> <p>ア 地域の人とのかかわりを扱う単元があり、コミュニティスクールの活動につなげることができる。</p> <p>ア 日本各地の名物料理を紹介しており、市の名産物にも興味をつなげることができる。</p> <p>イ 教科書の最後に2年間の振り返りがあり、写真とともに振り返ったり中学校の学習への意欲につなげたりできる。</p> <p>イ 「協力」「健康・快適・安全」「生活文化」「持続可能な社会」など、見方・考え方を意識させる表記の工夫がある。</p>

種目名[保健] 発行者の番号・略称[2 東書]

調査研究の観点	調査研究の内容
<p><u>(1) 内容の選択</u></p>	<p>ア 導入が丁寧で、各単元を4つのステップで学習を進められるように設定されている。また、課題解決的な学習が進められるようになっている。</p> <p>イ 絵や写真、グラフが大きく資料が見やすいことで課題や問題に気付きやすい。また、他教科や他学年との関連が分かりやすく示されている。</p> <p>ウ 単元別に振り返りの場面で、生活に生かせる資料がある。</p>
<p><u>(2) 構成・分量</u></p>	<p>ア 教科書をワークシートとして活用でき、評価まですることができる1冊となっている。</p> <p>ア 他者と比べ、単元によって単元計画を変えて授業時数を減らしている。（6年）</p> <p>イ 具体的な場面設定が内容ごとに示されていて、自分の経験や体験を基に話し合いながら考えを深めたり伝えたりすることができる。</p> <p>ウ 資料と文章の量が丁度良く、スマートである。</p>
<p><u>(3) 表記・表現</u></p>	<p>ア 重要語句が太字になっているため、キーワードとして理解しやすく、分かりやすい。</p> <p>イ 写真を多く掲載していて、実物や実際の場面などを見ることができ、自分の生活に結び付けやすい。</p>
<p><u>(4) 使用上の便宜・その他</u></p>	<p>ア QRコードより自社の特設サイトにつながり、内容を深めることができる。</p>

様式第2号（第4条関係）

狛江市立学校使用教科書調査研究資料（案）

教科別調査研究委員会委員長 鷺見 真太郎

種目名[保健] 発行者の番号・略称[4 大日本]

調査研究の観点	調査研究の内容
<u>(1) 内容の選択</u>	ア 各単元、「つかもう」「考えよう」「話し合おう」「活かそう」の学習展開となっている。 イ 各単元の終末に「まとめ」があり、学習のまとめをするとともに生活に生かす振り返りをしている。 ウ 「もっと知りたい」や「はってん」ページがあり、発展的な学習が充実している。
<u>(2) 構成・分量</u>	ア 「ここで学ぶこと」があることで学習に入りやすい構成になっている。 イ 一単位時間が見開き1ページで終わり、コンパクトで見やすい。 ウ 各ページにミニ知識の掲載があり、理解を深める。
<u>(3) 表記・表現</u>	ア 一つ一つの文章が短めで読みやすい。 イ 写真やイラスト、グラフが多く掲載されていて理解が深まりやすい。
<u>(4) 使用上の便宜・その他</u>	イ 折り込みカードが付いていて、導入の段階での工夫として児童の学習を進めやすくしている。

種目名[保健] 発行者の番号・略称[50 大修館]

調査研究の観点	調査研究の内容
<p><u>(1) 内容の選択</u></p>	<p>ア 各単元を3つのステップで学習を進められるように設定されている。 イ トップアスリートの幼少期のインタビュー掲載があり、児童の意欲を高める。 ウ 「体育のまど」や「解説」などで詳しく説明し、学びを広げたり深めたりできる発展的内容が掲載されている。</p>
<p><u>(2) 構成・分量</u></p>	<p>ア 「考えよう」の自己を振り返りながら学習を進められる構成となっている。 イ 1時間の学習が見開き2ページでまとめられ、資料を活用しながら理解を深めることができる。 ウ QRコードから「ほけんクイズ」にチャレンジすることができ、知識の定着を図れる。</p>
<p><u>(3) 表記・表現</u></p>	<p>ア 重要語句が分かりやすいように色枠で囲んでいる。 イ よい例と悪い例の写真やイラストを並べたり、見開き1ページを使って成長の変化を載せたりするなど比較しやすいようにしている。 また、イラストを交えながら分かりやすく示している。</p>
<p><u>(4) 使用上の便宜・その他</u></p>	<p>ア 巻頭に「タブレットを使って楽しく学ぼう」というページがあり、タブレット端末を活用して動画や関連ウェブサイトなどコンテンツを選び、知識を深めることができる。</p>

種目名[保健] 発行者の番号・略称[207 文教社]

調査研究の観点	調査研究の内容
(1) <u>内容の選択</u>	<p>ア 自分や身の回りのことを振り返るチェック欄が多く設定されていて、自分事として捉えやすくなっている。</p> <p>イ よい生活とよくない生活を比較するだけでなく、それらの生活が体や健康に及ぼす影響についても示されていて分かりやすい。</p> <p>ウ 「もっと考えよう課」に考えを深めるデータ資料を載せていて、発展的な学習に活用しやすい。</p>
(2) <u>構成・分量</u>	<p>ア 単元の冒頭に学習のめあてや進め方を提示してあることで、見通しをもって学習にのぞみやすくなっている。</p> <p>イ 項目が多く、情報量が豊富で知識をたくさん得られる。</p> <p>ウ 一単元当たり4～5ページほどの分量があり、充実した情報量を得られる。</p>
(3) <u>表記・表現</u>	<p>ア 重要語句が色付けされていたり、大きく太くなっていたりして見やすい。</p> <p>ア 構成の項目が「Mission」「stage」「Menu」など英語表記になっていて児童の学習意欲を高める一助になっている。</p> <p>イ イラストや写真資料が充実していて、それぞれ大きめに提示してあることで内容を理解しやすい。</p>
(4) <u>使用上の便宜・その他</u>	<p>ア 単元構成が8つにわけられていることで、より細かく学習できる構成になっている。</p> <p>イ QRコードを読み取り国税庁のHP等へつながる工夫がされていて、学習の理解を深めやすい。</p>

種目名[保健] 発行者の番号・略称[208 光文]

調査研究の観点	調査研究の内容
(1) 内容の選択	<p>ア 「見つけよう」「調べよう」「話そう」「生かそう」の学習順序により、課題解決型の学習展開になっている。</p> <p>ア 「学んだことを生かそう」では、単元の内容を自分事として振り返りやすいように工夫された文言になっている。</p> <p>イ 冒頭に学習の進め方が丁寧に説明されていて、どのように学習を進めればよいか分かりやすい。</p> <p>ウ プロスポーツ選手の食事や生活習慣、宇宙飛行士の運動等、児童の興味関心を引く内容が掲載されている。</p>
(2) 構成・分量	<p>ア 生活の仕方や影響について、比較をしたり関連付けたりしながら示されていて分かりやすい。</p> <p>イ 他社と比較し3・4年41ページ、5・6年65ページでシンプルに扱いやすい分量になっている。(ICTを活用して学習しやすい。)</p> <p>イ 子供の事故件数など、児童が自分事として問題を捉えやすい資料が多く載せられている。</p> <p>ウ 2ページ見開きで単元が構成されていてすっきりと見やすい。</p>
(3) 表記・表現	<p>ア 大切な言葉が太字になっていたり、背景の色や枠が工夫されていたりして見やすい。</p> <p>ア 児童の書き込みの枠が大きくとられていて書き込みしやすい。</p> <p>イ 写真は少なく、イラストが多いため児童にとって見やすく親しみやすい。</p>
(4) 使用上の便宜・その他	<p>ア 教科書の分量を補うだけの資料が掲載されている。</p> <p>イ 各単元にQRコード読み取り資料があり、光文書院の特設ページや動画資料にリンクしている。</p>

種目名[保健] 発行者の番号・略称[224 学研]

調査研究の観点	調査研究の内容
(1) <u>内容の選択</u>	<p>ア 自分の経験を振り返ったり確かめたりするところから課題を見出し、解決していく学習の流れとなっている。</p> <p>イ 児童が見出した課題に対して、様々な対処の仕方についてイラストを用いて分かりやすく考えることができる。</p> <p>ウ 自分の考えを記述する枠が大きく設定されているため、学んだことを表現し学びを深めやすくなっている。</p>
(2) <u>構成・分量</u>	<p>ア 各単元4ページ（見開き2ページずつ）となっていて、充実した分量で学習内容が記載されている。</p> <p>イ 教科書に書き込む欄が多く設けられていて、一冊に資料やワークシートまでがまとまっている。（余計なQRコード資料は載っていない。）</p> <p>イ 他社と比較し、3・4年49ページ、5・6年89ページで一冊完結型の充実した分量になっている。</p>
(3) <u>表記・表現</u>	<p>ア 写真、イラスト、文字ともに大きめに印刷されていて見やすい表記になっている。</p> <p>ア 具体的な学習活動が太字で色を変えて表記されていて、児童にとって活動内容が理解しやすくなっている。</p> <p>イ 実生活と結び付けやすい写真資料が多く掲載されている。</p>
(4) <u>使用上の便宜・その他</u>	<p>ア QRコードからワークシートにアクセスでき、タブレット型端末を活用して学習しやすくなっている。</p> <p>イ 各ページに補足として豆知識が載っていて、キャリア教育（職業とのつながり）も学べるようになっている。</p>

種目名[英語] 発行者の番号・略称[2 東書]

調査研究の観点	調査研究の内容
(1) 内容の選択	<p>ア QRコードがあり、音声を開いたり、動画を見たりすることができる。 聞き取ったことを書いたり、自分のことについて話したりすることができる。やり取りの例が示されている。</p> <p>イ Let's Read and Write で文字を追いながら開いたり、聞いたものを写して書いたりできる。 巻末に音声と文字を関連させるページがある。</p> <p>ウ 世界の国々や文化について紹介する映像教材がある。</p>
(2) 構成・分量	<p>ア Over the Horizon で、世界の言葉の背景にある様々な文化を知り、自分の考えを記述する欄がある。 Small Talk で会話の内容が記載されている。</p> <p>イ 発表に関連する表現例がある。Starting Out : 単元の内容に慣れ親しむ→Your Turn : 学習の定着を図る→Enjoy Communication : 英語を使う実際の場面で会話や発表をする→Over the Horizon : 世界の文化を知るという流れで8つのUnit から構成されている。 ペア活動やグループ活動で会話ができる。めあてやゴール、やることが記載されている。</p>
(3) 表記・表現	<p>ア 活動の種類をマークで示している。指示が端的である。</p> <p>イ 適宜絵や写真が入っている。淡い色が多く、見やすい。四線の第二線と第三線の間隔が広い。</p>
(4) 使用上の便宜・その他	<p>ア 発表に使用できるカードがUnit ごとにある。デジタル教科書を項目ごとに活用でき、映像資料が充実している。</p> <p>イ 単語やセンテンスが四線に載っている。ワークシート集があり、アクティビティに活用できる。 マイピクチャーディクショナリーがついている。目次、索引、カテゴリーが載っている。 教科書、マイピクチャーディクショナリーともにA4サイズである。リスニングやスピーキングの書き込みができる欄が多い。 4技能5領域がマークで示されている。Can-Do リストがマイピクチャーディクショナリーの巻末にある。</p>

種目名[英語] 発行者の番号・略称[9 開隆堂]

調査研究の観点	調査研究の内容
(1) <u>内容の選択</u>	<p>ア QRコードが付いており、音声を聞いたり動画を見たりすることができる。 「聞くこと」に十分に慣れ親しんだ後、「話すこと」「書くこと」を行える。</p> <p>イ Let's Listen and Read で聞いた文字を追いつ、Let's Write で自分の事を書くことができる。</p> <p>ウ 各単元の最後に、世界の文化を紹介するページがある。</p>
(2) <u>構成・分量</u>	<p>ア 単元のゴールとそこにたどり着くためのステップが明確に示されている。 Small talk のテーマが各ページに書いてあり、活用できる。</p> <p>イ 友達と関わりをもちながら、課題解決する取り組みがある。</p>
(3) <u>表記・表現</u>	<p>ア 読みごたえのある文字量で説明が記載されている。</p> <p>イ 淡い色合いで刺激が少ない。四線の第二線と第三線の間隔が若干広い。</p>
(4) <u>使用上の便宜・その他</u>	<p>ア 5年生では友達や身の回りのことを題材に、6年生では外国の人や文化を題材に学べる。</p> <p>イ A4サイズ。別冊でワードブックがついており、四線上にワードが載っている。 書き込みの分量は普通。Can Do リストが巻末についている。 探したい言葉をカテゴリーごとの目次や日本語索引から探せる仕組みになっている。 4技能5領域のカテゴリーが文字で記載されている。</p>

種目名[英語] 発行者の番号・略称[15 三省堂]

調査研究の観点	調査研究の内容
(1) 内容の選択	<p>ア Let's listen, Let's speak のコーナーがあり、質問内容がシンプルで内容量も多過ぎず、児童が課題に取り組みやすい。</p> <p>イ Let's Listen & Read の文章を聞き、英文を書き写すことができる。</p> <p>ウ ところどころに日本や世界の文化理解に関する内容が盛り込まれているので興味をもって取り組める。</p>
(2) 構成・分量	<p>ア part ごとに分かれていて、Let's watch, listen, speak, talk などそれぞれの技能について適量の問題が設定してある。</p> <p>単元ごとのゴールが設定されているが、スモールトークについては記載はない。</p> <p>イ 友達同士でコミュニケーションを取れるような課題の取り組みがある。ペアでの活動練習ができる。</p>
(3) 表記・表現	<p>ア 文字が多過ぎず、イラストのヒントを見ながら課題に取り組める</p> <p>イ カラフルなイラストが多く、会話をする際のポイントを押さえるヒントになっている。</p> <p>4線の2～3線目が若干広めになっている。</p>
(4) 使用上の便宜・その他	<p>イ My Dictionary という、表現や語句をまとめたワードリストがついている。語句の意味を確認したり、既習事項を復習したりするのに役立つ。4線上に単語が書かれている。</p> <p>大きさはA4サイズ。書き込み分量は普通。Can do list が巻末に載っている。ジャンルごとの索引から言葉を調べられるようになっている。</p>

種目名[英語] 発行者の番号・略称[17 教出]

調査研究の観点	調査研究の内容
(1) 内容の選択	<p>ア 基礎的な内容で構成されている。各コーナーにQRコードがついている。</p> <p>イ 書くことよりも聞く・話す活動が多い。</p> <p>ウ SDGs や世界の動物の単語など、英語の技能以外にも視野を広げられる内容が含まれている。イラストだけでなく、外国の写真などが使用しており、外国についてイメージしやすい。</p> <p>エ 巻末等に世界の有名な物語の簡単な英訳が載っており、既習表現を活用して読む活動ができる。</p>
(2) 構成・分量	<p>ア 巻末のワークシートやカードが充実しており、児童の課題解決を促す期待ができる。各単元のゴールが示されている。</p> <p>イ ペア活動が各単元に用意されており、指示の内容も分かりやすい。</p> <p>ウ 各単元の終わりに復習のページが用意されている。</p>
(3) 表記・表現	<p>ア 巻末の単語一覧は、すべての単語が4線の上にならべて書かれているので、文字の書き方を確認しながら活用できる。</p> <p>イ 写真や、4年生までの”Let’s try!”に似た図や構成が多く、親しみをもって取り組める。児童の知っているようなキャラクターが登場し、親しみを持ちやすい。</p> <p>4線が等間隔のものが使われている。</p>
(4) 使用上の便宜・その他	<p>ア シールや付録がついていて、さらにゲームの活動が多く掲載されており、楽しみながら学べる。</p> <p>イ 各単元に歌やチャンツが用意されており、QRコードもついているので、家庭での復習にも活用できる。切り取り式のワードリストが巻末にあり、4線ではなく、一本線の上にならべて書いてある。教科書に書き込みながら学習できる。</p> <p>ワードリストはカテゴリーごとにまとめてある。各単元末にふりかえりのコーナーがある。</p>

種目名[英語] 発行者の番号・略称[38 光村]

調査研究の観点	調査研究の内容
(1) 内容の選択	<p>ア [Let's watch] [Let's listen] [Let's try]の流れで単元の学習に必要な内容を理解し、イメージを膨らませながら、「聞くこと」及び「話すこと」に関する活動につなげることができる。QRコードがあり、音声を聞いたり、動画を見たりすることができる。</p> <p>イ 学習ごとに[Let's write and read]で書きながら読んだり、発音のワンポイントアドバイスが記入されていたりして、理解しやすい内容になっている。</p> <p>ウ SDGs や国特有の食べ物や建築物が紹介されていて、理解を深めやすいうえに、視野を広げやすい。</p>
(2) 構成・分量	<p>ア [Hop!] [Step] [Jump!]の順で、単元のゴールに向けてスモールステップで学習が進められる構成になっている。</p> <p>イ 外国の友達にインタビューをしたり、日本の文化を紹介する活動をしたりして、英語によるコミュニケーションが必要であることを理解しながら学習が進められる。[Small talk]のテーマが各ページに書いてあり、活用できる。班活動やペア活動が多く、協働的な学習が可能である。</p> <p>ウ 一単位時間の学習量が適切であり、学習内容がわかりやすい。</p>
(3) 表記・表現	<p>ア 日本語の説明が簡潔で分かりやすい。[Let's watch] [Let's listen] [Let's try] [Let's write and read]など、聞くのか、話すのか、かくのか学習内容が明確でよい。</p> <p>イ 英単語や文章など、基本的にカラーのイラストや写真入りなのでイメージをもちやすい。よく使うであろう英単語や英文が紹介されていて、自分で考えて話したり書いたりするときに効果的である。四線の第二線と第三線の間隔が若干広い。</p> <p>ウ 一単位時間の学習内で、使われる英語や英文の量が適切である。</p>
(4) 使用上の便宜・その他	<p>ア 巻末に載っている英単語集が小冊子になっている。英単語がカテゴリーごとに分かれていて見つけやすい。英単語が四線の上にかかれているので、理解しやすい。教科書に付属しているので、扱いやすい。また、教科書から取り外して使うこともできる。</p> <p>イ デジタル教科書を個人で活用することができる。イラストで[Can do]がわかる。教科書のサイズがAB版になっている。</p>

種目名[英語] 発行者の番号・略称[61 啓林館]

調査研究の観点	調査研究の内容
(1) 内容の選択	<p>ア 各単元のすべてのコーナーにQRコードがあり、音声を聞くことができる。2ページに1回Activityのコーナーがあり、尋ね合い、伝え合いをするようになっており、会話におけるtips(ヒント)が載っている。challengeのコーナーでは、既習フレーズを使って発展的な活動ができる。</p> <p>イ watch and doや単元末のLet's read and writeにおいて、音声と文字を関連させて復習することができる。</p> <p>ウ Did you know では、世界のいろいろな文化や人物に触れることができる。</p> <p>エ 社会科、総合、算数など他教科との関連を意識したページや、SDGsを意識したページがある。</p>
(2) 構成・分量	<p>ア Activityではペアやグループでの活動場面が多く、協働的な学習を意識している。 単元に一回friendsというコーナーがあり、世界の子供たちが話す様子から、Listeningに取り組むようになっている。 単元のはじめにゴールとそこに至るまでのstepが提示されている。</p> <p>イ introduction⇒watch the scene⇒words and phrases⇒listen and do⇒chant⇒activityの順番に進め、1つの単元でこの流れを3回行うようになっている。学期末のTRYはパフォーマンステストに使い、コミュニケーションポイントも載っている。</p>
(3) 表記・表現	<p>ア 文字の分量は少なめで見やすい。物語も短い文で書かれている。</p> <p>イ イラストや写真がふんだんに使用されており、色が目に優しい。 第2線と第3線の感覚がやや広い。</p>
(4) 使用上の便宜・その他	<p>ア 巻末に乗っているword listは、絵だけが強調されることなく、文字が大きく、カテゴリー別になっており、文字には第線のみある。 巻末に各unitで活用できるカードがついている。</p> <p>イ Activityの「書く」コーナーは、自分のことや自分の考えを含めて書くようになっている。 4技能5領域、マークで表示されている。 巻末に、UnitごとのCan-do listが載っている。 大きさはA4サイズ</p>

種目名[道徳] 発行者の番号・略称[2 東書]

調査研究の観点	調査研究の内容
(1) <u>内容の選択</u>	<p>ア 有名教材が組み込まれている。また、中学年、高学年の教材には、現在活躍する著名人の教材や、歴史上の人物の教材がバランスよく取り入れられている。</p> <p>イ 教材が児童にとって身近な内容になっているものが多い。どの学年にもいじめ問題や自己肯定感の向上についての内容が取り上げられている。高学年には、情報モラルの内容も含まれている。</p>
(2) <u>構成・分量</u>	<p>ア 各学年に相応した分量である。</p> <p>ア 人間理解、価値理解、他者理解ができる内容構成になっている。</p> <p>ア 各教材とも、最後に中心発問や振り返りの発問が掲載されている。</p> <p>ア 低学年ではAの価値項目、高学年ではCの価値項目が多く取り扱われている。</p>
(3) <u>表記・表現</u>	<p>ア どの学年の内容の表記も読みやすく問題なく読み進めることができる。</p> <p>ア 意味が難しい言葉については、文末に意味が掲載されている。</p> <p>ア イラストが大きく、文字とのバランスが良い。また、UDフォントで、誰にとっても見やすく分かりやすい。</p> <p>イ 挿絵が柔らかく、親しみやすい。</p>
(4) <u>使用上の便宜・その他</u>	<p>ウ 教材の最後に「考えよう」として主発問や振り返りになり得る発問、「つながる・広がる」でさらに学習を深めることができるコンテンツがある。</p> <p>ウ デジタルコンテンツが教科書に付随しており、①朗読②スライドショー③ワークシートの活用ができたり、内容に応じた内容の動画等が本文中に掲載されたりしている。（偉人等）</p> <p>ウ 考えるためのツールが巻末に掲載されている。また、教材一覧表が巻末に掲載されており、内容項目・教材・関係するテーマ・他教科との関連が示されている。</p>

種目名[道徳] 発行者の番号・略称[17 教出]

調査研究の観点	調査研究の内容
(1) <u>内容の選択</u>	<p>ア 東日本大震災を扱うことで、より道徳的価値が鮮明になっている。</p> <p>ア 目次に、「特に大切にするテーマ」「問題解決力を養う教材」「体験しながら考える教材」には特別なマークがついている。</p> <p>ウ 他教科・領域との関連ができるよう、一覧にまとめられているため、分かりやすい。</p> <p>エ 単元ごとに振り返りチェック欄が設けられている。</p>
(2) <u>構成・分量</u>	<p>ア 題材の最後には「かんがえよう」「ふかめよう」が入っているため、展開の前段・後段で使用できるよう構成されている。直接振り返りを書き込むことも出来てよい。</p> <p>ア 単元の最後に、3つの振り返りについて記入できる。</p> <p>ア 単元ごとに「考えよう→深めよう→つなげよう」の構成になっている。</p>
(3) <u>表記・表現</u>	<p>イ イラストが大きく、表情がわかりやすい。</p> <p>イ 内容で扱った国の様子がわかる写真を掲載しており、低学年にも分かりやすい。</p>
(4) <u>使用上の便宜・その他</u>	<p>イ SDGs と関連する題材が5つある。</p> <p>ウ 学習をより深めるためにタブレットの活用方法が掲載されている。</p> <p>ウ まなびリンクを活用することができる。</p> <p>ウ 学習に役立つ情報を QR コードから見るすることができる。</p>

種目名[道徳] 発行者の番号・略称[38 光村]

調査研究の観点	調査研究の内容
(1) <u>内容の選択</u>	<p>ア 全ての内容項目がまんべんなく入っている。特に、D項目「生命の尊さ」は教材数が多く設定されている。</p> <p>イ 教材に合わせた「コラム」がいくつか掲載されていて、児童の実態に合わせた活用が考えられる。</p> <p>ウ 絵本の題材が入っており、他の本も読んでみようかなと思うきっかけになる。</p>
(2) <u>構成・分量</u>	<p>ア 各学年の発達段階に合わせた分量となっている。</p> <p>ア A、B、C、Dの項目がいくつかにまとまりながら掲載されていることで、多角的な思考を促しやすい。</p> <p>ア 1年生は、はじめの7時間目までの教材の内容がほとんど絵になっていて、物語教材が使われるのは、8時間目からになっている。</p>
(3) <u>表記・表現</u>	<p>ア 字体やポイントが、各学年の発達段階に合っていて読みやすい。</p> <p>イ 高学年でも、挿絵や写真が大きく、内容を捉えやすい。</p>
(4) <u>使用上の便宜・その他</u>	<p>ウ 「考えよう・話し合おう」「つなげよう」といった視点が示されているので、誰でも道徳授業を展開しやすいようになっている。</p> <p>ウ 紙の色は少しくリームがかかっていて、目に優しい。また、目次の番号が内容項目ごとに色分けしてありわかりやすい。</p> <p>ウ 「考えるヒント」がいくつかあり、自分の考えを表現することが苦手な児童にとって選択の一つになる。</p> <p>ウ 考えをより深めるための考えのヒントが（役割演技や図を使った表し方など）提示されているため、自分の考えを表現することに苦手を感じる児童にとっては手立ての一つとなる。</p>

種目名[道徳] 発行者の番号・略称[116 日文]

調査研究の観点	調査研究の内容
(1) 内容の選択	<p>ア 有名教材が多く掲載されていて、児童の思考を深めるのに最適である。</p> <p>イ QRコードが付いていて、タブレットで読み取ると、学習の参考になる資料を見たり使ったりすることができる。</p> <p>イ 歴史上の人物や今現在活躍している人物の資料など、幅広く取り上げられていて、児童の興味関心を惹く内容になっている。</p> <p>ウ 付録が3作品あり、児童の実態に応じて入れ替えることができる。</p>
(2) 構成・分量	<p>ア 1年生は150ページ、6年生は190ページの分量で発達段階に応じて適量である。</p> <p>ア 「道徳の学び方」「道徳のとびら」がどの学年でも最初にあり、道徳学習の道しるべになっている。また、どの資料にも「考えてみよう」「見つめよう・生かそう」があり、どんなことを児童に考えさせたらよいか授業を構成するのに役立てることができる。</p> <p>イ 最後のページに「学習内容一覧」があり、他教科とのつながりが分かりやすい。</p>
(3) 表記・表現	<p>ア 資料のタイトルの上に道徳の価値項目A～Dに分類したマークが書いてある。何について学ぶ資料なのか視覚的に分かりやすい。</p> <p>ア 「考えをぐっと深めるためのページ」にマークが付いており、話し合ったり、役割演技をしたりと、児童の思考を深める工夫を意識しやすい。</p> <p>イ 図や写真が大きく、色がきれいで見やすい。文字の事態が柔らかくて読みやすい。</p>
(4) 使用上の便宜・その他	<p>イ 3年生以上は最後に「SDGsで考えよう」というページがあり、道徳の学習をSDGsと関連付けて考えることができる。</p> <p>ウ 付属で「道徳ノート」が付いていて、教師の授業準備の負担が少なくなる。</p> <p>「道徳ノート」・・・発問がなく、自由に書ける形式になっているので、児童の実態に応じて書く内容を変更できる。毎時間自己の振り返りをチェックする欄があり、学習の振り返りに役立つ。</p> <p>ウ A4ワイド版になっていて、字の大きさが見やすい。</p>

種目名[道徳] 発行者の番号・略称[208 光文]

調査研究の観点	調査研究の内容
(1) <u>内容の選択</u>	<p>ア 教科書のはじめに、道徳科の内容項目や自分の考えのまとめ方、話し合いの仕方など学びの進め方を詳しく示している。</p> <p>ア 单元ごとに、はじめに主題及び内容項目に関わる問いが掲載されている。また、おわりには4つの発問が掲載されている。</p> <p>ア 発問の枠ごとに色がついており、問題解決の流れが同系色のグラデーションで色分けされている。</p>
(2) <u>構成・分量</u>	<p>ア 单元ごとに、「見つけよう→考えよう→まとめよう→ひろげよう」の構成になっている。</p> <p>ア 学年間で教材に関連がある。(例：1年「すてきなことば、あふたあゆう」と、6年「一年生のお世話係—アフター・ユ—」)</p> <p>ア 読みもの教材は、ほとんどが見開き2ページ程度に収めて掲載されている。(1年生は見開き1ページ程度のものが多い)</p>
(3) <u>表記・表現</u>	<p>ア ユニバーサルデザインフォント及びカラーバリアフリーを採用しており、ユニバーサルデザインに配慮している。</p> <p>イ 登場人物が多い物語では、はじめに登場人物の名前とイラストを掲載しており、分かりやすく配慮されている。(中学年までの教科書では、台詞の部分にもイラストと名前が示されている。)</p> <p>イ 資料はイラストが多いが、教材によっては景色や文化財など実物の写真も掲載されている。</p>
(4) <u>使用上の便宜・その他</u>	<p>イ ①友達とコミュニケーションをとる活)、②学年に応じた SNS や端末機器の使い方を学ぶ資料、③教材との関連で、心の力を育てる方法を考える資料、④SDGs と教材との関連や、自分たちに出来そうなことを考える資料、⑤偉人の詩を掲載している。</p> <p>ウ QR コードが掲載されており、読み取ることで教材に関わる資料(写真や動画等)を見ることができる。</p> <p>ウ 学習した日付と、自分の気持ちや考えを記録できる「学びの足あと」が付属している。</p>

種目名[道徳] 発行者の番号・略称[224 学研]

調査研究の観点	調査研究の内容
(1) <u>内容の選択</u>	<p>ア 児童が主体的に考え、議論できるような工夫された教材になっている。</p> <p>ア いのち、多様性、キャリア教育、情報モラル、いじめ防止など豊富なテーマに対応した教材を取り扱っている。</p> <p>イ 現代的な課題を自分事として捉えられる教材を取り扱っている。</p> <p>イ 児童が興味関心を高めやすい、今を生きる人物や記憶に新しい題材を取り上げている。</p>
(2) <u>構成・分量</u>	<p>ア 各学年の発達段階に合わせた分量となっている。</p> <p>ア A、B、C、Dの項目がまんべんなく掲載されている。</p> <p>ア 低学年ではAの項目が多く、学年が上がるにつれ、学年に合った内容の取扱いが増えていっている。高学年ではCの項目が多い。</p>
(3) <u>表記・表現</u>	<p>ア 教材を読みたくくなるようなキーワードや視認しやすく色分けしたマーク色分けしたマークなどがあり直感的に学習を進めやすい。</p> <p>ア ユニバーサルデザインに配慮した字体になっている。</p> <p>イ 教材に適した挿絵や写真あり、内容を捉えやすい。</p>
(4) <u>使用上の便宜・その他</u>	<p>イ 弱視の児童に対応した拡大教科書がある。</p> <p>ウ 指導書にはICTを活用した指導案が多数掲載されている。デジタル教科書の利用も可能である。（児童用・教師用）</p> <p>ウ QRコードを読み込むことで授業に活用できるデジタルコンテンツが収録されている。</p>